

第 103 回 (平成 26 年度)日本病理学会宿題報告応募抄録

(ふりがな) 応募者氏名	印 日本病理学会会員番号: 生年月日: 年 月 日生まれ (歳)		
所属		職名	
所属住所	〒		
	電話:	Fax:	電子メール:
応募者略歴			
宿題報告担当者として病理学会員に呈示したい perspective (専門領域あるいは病理学全般に関して):			

演題名

選考用抄録 (1000 字以内)

業績一覽

業績一覧記載例

論文

50 編以内、著者は省略せず全員を記載すること、応募者に下線を付すこと

1. Suzuki I, Tanaka J, Yamada S, Ito S. Prognostic markers for invasive breast cancer. Pathol Int 20; 175-180, 2010
2. 田中二郎, 鈴木一郎, 山田三郎, 伊藤四郎. 乳がんの予後因子. 診断病理, 20; 175-180, 2012

著書

3. Suzuki I, Tanaka J: Prognostic markers for invasive breast cancer. Histopathology. (Ed) Yamada S, Ito S, Pathology Press, Tokyo, p.175-180, 1996
4. 田中二郎, 鈴木一郎: 乳がんの予後因子. 組織病理 (山田三郎, 伊藤四郎編集). 病理書院, p.175-180, 2010